

2025年度 英語英米文学科 半期海外留学制度

アメリカ：カリフォルニア大学デーヴィス校

(University of California, Davis)

アメリカ西海岸サンフランシスコから車で1時間、全米一の広大なキャンパスを持ち、長い歴史を誇るカリフォルニア大学デーヴィス校（UCD）で行います。UCデーヴィス・エクステンションによる英語集中講座にて、英語コミュニケーション理論に裏打ちされた講義と実践、ホームステイの生活体験を通じて、国際理解の増進を目的としています。

イギリス：エクセター大学

(University of Exeter)

ロンドンから南西に電車で約2時間半、イギリスで最も人気のある大学の一つであるエクセター大学英語語学センターによる英語集中講座にて学びます。また、歴史のある町だけに、多くの古い建造物や町並みが保存されているので、英国の歴史・文化に関する知識をより深め、国際理解の増進も期待できます。

オーストラリア：サザンクロス大学ゴールドコースト校

(Southern Cross University, Gold Coast)

観光都市ゴールドコースト空港のすぐ近く、美しい Kirra Beach よりわずか400mの場所にキャンパスがあります。オーストラリアでは唯一の「オーシャンビューキャンパス」。ショッピング、サーフィン、観光都市で有名なゴールドコースト。様々な人種が多く住んでいる都市です。教師と学生との距離が近く、とてもアットホームな雰囲気のある大学です。

※アメリカカリフォルニア大学デーヴィス校、オーストラリアサザンクロス大学ゴールドコースト校の留学期間は約5ヶ月間、イギリスエクセター大学は約3ヶ月間で在学期間に算入されます。留学期間中に修得した単位は、24単位を上限として認定され、4年間で卒業することが可能です。

アメリカ留学

カリフォルニア大学デーヴィス校 (University of California, Davis)

<https://www.ucdavis.edu>



◆留学期間：約5ヵ月間

出発 2025年9月下旬 → 帰国 2026年2月下旬

※留学期間は修業年限および在学期間に算入されます。

◆応募資格：

①本学に1年以上在学した者で、**英米英米文学科独自の基準(9ページ参照)**を満たしていること。

②TOEICスコア380以上の者

◆講義内容：

カリフォルニア大学デーヴィス校の大学エクステンションによる英語集中講座、コミュニケーション論、スピーチ・メイキングなど。

◆単位認定：

単位認定は、カリフォルニア大学デーヴィス校が発行する成績証明書と学生が申請する単位認定願に基づき、本学で審査の上、24単位を上限として認定されます。

◆住居形態：留学全期間中ホームステイを予定している(2食/土日は3食付き)

◆留学費用(2023年度実績)：

①UCDプログラム費用 1,044,700円

②ホームステイ費 911,307円 ※ホームステイ2食

③渡航費 342,350円

※上記ほか、危機管理サービス(OSSMA plus)加入費用、海外旅行保険料、アメリカビザ申請費用、I-901SEVIS費用、海外送金手数料等、10~12万円必要です。

※テキスト代、フィールド・トリップ費用、その他現地での個人的費用は自己負担

◆募集期間：2024年12月9日(月)~2025年1月10日(金)

＜再募集期間：2025年1月17日(金)~2025年2月13日(木)＞

◆選考：学業成績、TOEICスコア、面接をもって選考します。

◆本学の授業料免除制度(全学部全学科)：国際交流課へ申請し、審査の後免除の可否が決定します。

◆外国留学奨学金制度(英語英米文学科のみ)：上記日程にて同時募集。但し、下記英語試験スコアを満たしている事が応募条件です。

留学の動機・学業成績・語学力などを総合的に審査して選考のうえ金額を決定し支給します。

(20万円・30万円・40万円いずれか必ず支給：返還の必要なし)

※奨学金を希望する学生はTOEICまたはTOEIC-IPのスコアが380以上の証明書が必要です。

留学に行く前年度において受験した試験のみが対象です。よって、留学に行く年度に受験した試験は対象になりません。

年間の試験スケジュールを確認し、十分な準備をしてTOEICを受験して下さい。

イギリス留学 エクセター大学 (University of Exeter)

<https://www.exeter.ac.uk>



◆留学期間：約3ヵ月間

出発 2025年9月下旬 → 帰国 2026年12月中旬

※留学期間は修業年限および在学期間に算入されます。

◆応募資格：

- ①本学に1年以上在学した者で、**英属英米文学科独自の基準（9ページ参照）**を満たしていること。
- ②TOEICスコア380以上の者

◆講義内容：

エクセター大学英語語学センターによる英語集中講座、コミュニケーション論、スピーチ・メイキングなど。

◆単位認定：

単位認定は、エクセター大学が発行する成績証明書と学生が申請する単位認定願に基づき、本学で審査の上、24単位を上限として認定されます。

◆住居形態：留学全期間中大学寮の宿泊を予定（自炊）

◆留学費用（2024年度実績）：

- ①エクセタープログラム費用（含 教材費保証金） 1, 188, 525円
- ②寮費（2024年度急遽大学寮に変更） 453, 551円（ホームステイ料金を支払）
- ③渡航費 296, 180円

※上記ほか、危機管理サービス（OSSMA plus）加入費用、海外旅行保険料が必要です。

※テキスト代、フィールド・トリップ費用、その他現地での個人的費用は自己負担

◆募集期間：2024年12月9日（月）～2025年1月10日（金）

<再募集期間：2025年1月17日（金）～2025年2月13日（木）>

◆選考：学業成績、TOEICスコア、面接をもって選考します。

◆本学の授業料免除制度（全学部全学科）：国際交流課へ申請し、審査の後免除の可否が決定します。

◆外国留学奨学金制度（英語英米文学科のみ）：上記日程にて同時募集。但し、下記英語試験スコアを満たしている事が応募条件です。

留学の動機・学業成績・語学力などを総合的に審査して選考のうえ金額を決定し支給します。

（20万円・30万円・40万円いずれか必ず支給：返還の必要なし）

※奨学金を希望する学生はTOEICまたはTOEIC-IPのスコアが380以上の証明書が必要です。

留学に行く前年度において受験した試験のみが対象です。よって、留学に行く年度に受験した試験は対象になりません。年間の試験スケジュールを確認し、十分な準備をしてTOEICを受験して下さい。

オーストラリア留学

サザンクロス大学ゴールドコースト校 (Southern Cross University, Gold Coast)

<https://www.scu.edu.au>



◆留学期間：約5ヵ月間

出発 2025年9月下旬 → 帰国 2026年2月下旬

※留学期間は修業年限および在学期間に算入されます。

◆応募資格：

①本学に1年以上在学した者で、**英米英米文学科独自の基準(9ページ参照)**を満たしていること。

②TOEICスコア380以上の者

③人文学部英語英米文学科の学生(2027年度より全学部学生に応募資格を広げることを予定)

◆講義内容：

サザンクロス大学ゴールドコースト校附属英語学校による英語集中講座、コミュニケーション論、スピーチ・メイキングなど。

◆単位認定：

単位認定は、サザンクロス大学ゴールドコースト校が発行する成績証明書と学生が申請する単位認定願に基づき、本学で審査の上、24単位を上限として認定されます。

◆住居形態：留学全期間中ホームステイを予定している(2食/土日は3食付きを予定している)

◆留学費用(サザンクロス大学提供の情報により2025.1.15に作成) AU1ドル=100円で計算：

①SCUプログラム費用(大学入学費を含む) 846,000円

②ホームステイ費(ホームステイ手配料を含む) 815,000円

③空港までの送迎代 1,600円

④オーストラリア学生ビザ申請費用 160,000円

⑤渡航費(2024年視察時実績) 390,000円

※上記ほか、危機管理サービス(OSSMA plus)加入費用、海外旅行保険料、海外送金手数料等、4~5万円必要です。

※フィールド・トリップ費用、その他現地での個人的費用は自己負担

◆募集期間：2024年12月9日(月)~2025年1月10日(金)

<再募集期間：2025年1月17日(金)~2025年2月13日(木)>

◆選考：学業成績、TOEICスコア、面接をもって選考します。

◆本学の授業料免除制度(全学部全学科)：国際交流課へ申請し、審査の後免除の可否が決定します。

◆外国留学奨学金制度(英語英米文学科のみ)：上記日程にて同時募集。但し、下記英語試験スコアを満たしている事が応募条件です。

留学の動機・学業成績・語学力などを総合的に審査して選考のうえ金額を決定し支給します。

(20万円・30万円・40万円いずれか必ず支給：返還の必要なし)

※奨学金を希望する学生はTOEICまたはTOEIC-IPのスコアが380以上の証明書が必要です。

留学に行く前年度において受験した試験のみが対象です。よって、留学に行く年度に受験した試験は対象になりません。

年間の試験スケジュールを確認し、十分な準備をしてTOEICを受験して下さい。

半期海外留学参加者の 単位認定及び履修登録について

◆単位認定について

- ①半期海外留学修了後に下記の表 1 の科目を留学先大学の「成績証明書」及び、留学生が帰国後提出する「単位認定願」「留学報告書」「学習の概要及び今後の勉学計画」に基づき 24 単位を上限に認定します。(いずれの大学に留学した場合でも、同様です。)
- ②いずれの大学に留学した場合でも、留学せずに本学在学中同様、年間最大 48 単位まで修得することが可能です。

◆履修登録について

- ①前期に履修登録出来る単位数は 24 単位までを原則とします。
- ②下記の表 1 の科目は、留学先で授業を受け帰国後単位認定しますので、履修登録の必要はありません。(本学で前期に開講されている科目でも履修登録しないで下さい。)

表 1 (英語英米文学科半期留学で認定可能な科目と単位数) 英語英米文学科の認定

認定科目名	全学共通科目	専門科目	備考
英語ⅣA	1 単位		
英語ⅣB	1 単位		
英文講読D		2 単位	
英語圏の社会A		2 単位	
英語圏の社会B		2 単位	
英語コミュニケーション論A		2 単位	
英語コミュニケーション論B		2 単位	
Business English A		2 単位	
Business English B		2 単位	
Speech Making A		2 単位	
Speech Making B		2 単位	
English Writing C		2 単位	
Oral Communication D		2 単位	
留学・観光英語B		2 単位	
合計	2 単位	24 単位	24 単位上限

注 意

- ◆留学費用(円)は実施時期の為替レートに基づいて算出していますので、費用は現地通貨で確認してください。また、各大学プログラム料金は、実施年度によって変動することがありますのであらかじめご了承下さい。
- ◆各留学プログラムは、参加人数、提携大学の状況によっては実施しない場合があります。
- ◆各留学プログラムにおいて外務省が発表する「海外危険情報」により、大学が危険と判断した場合はプログラムの中止を行うことがありますのでご了承下さい。
- ◆留学参加者は留学先に到着した後、外務省「在留届電子届出システム (ORR-Net)」のウェブページにアクセスし、登録してください。いざというとき、在外公館から緊急時情報提供を受けることができるシステムで、外国に3ヶ月以上滞在する場合は登録が義務付けられています。

半期海外留学に関するQ & A

Q：留学を申し込むためにはどのような手順を踏めばよいのですか？

A：毎年12月に実施される全体ガイダンス及び国別ガイダンスに参加し、希望する大学を決めた後、所定の「留学願」「留学の目的」を教育支援課へ提出します。その後、英語英米文学科教員による個別面接があり、選考となります。選考基準は学科で定められた基準があり、それに基づいて行われます。

但し、申し込み条件として、1年終了時の場合は英語英米文学科独自の基準（9ページ）を満たしていることが必要となります。

Q：留学はどの学年でも申し込むことが出来るのですか？

A：本来は英語英米文学科2年生の後期に実施するプログラムになっています。本学に1年以上在学していることが留学へ応募する資格の一つとなっていますので、3、4年生で希望する場合は事前に教育支援課までご相談下さい。

なお、留学期間は本学への在学期間に算入されるため、4年間での卒業が可能となります。

Q：留学先で修得できる単位数はいくつですか？

A：どの留学先も英語英米文学科の学生であれば24単位を上限として認定する事が出来ます。

詳しい認定科目については前頁でご確認下さい。

Q：留学期間の延長・短縮、ホームステイ終了後の現地での自由行動は出来ますか？

A：大学があらかじめ組んでいる留学プログラムで、個人の留学ではありません。

そのため、留学期間の延長・短縮、ホームステイ終了後の現地での自由行動はできません。

決められたスケジュールに基づいて実施いたします。

Q：留学にかかる費用はどのくらいですか？

A：本パンフレットの各大学説明欄に過去の実績に基づき掲載している留学費用を目安にしてください。留学先でかかる費用はこれ以外に各自のお小遣いという事になります。

なお、留学を認められた人は、留学期間の本学授業料の免除申請ができます。国際交流課へ申請し、「学業成績（取得単位数1年次終了時36単位以上、2年次終了時80単位以上、3年次終了時112単位以上・GPA（前年度通算GPA2.0以上）」「語学力（TOEIC380点以上）」「研修動機」が総合的に審査され、免除の可否が決定されます。がんばる学生を支援する本学独自の支援体制なので、計画的に留学の準備をし、本学授業料の免除の制度も覚えておきましょう。また、各大学プログラム料金は、実施年度によって変動することがありますので、あらかじめご了承ください。

Q：留学費用はいつ頃までに準備し、どのように支払えばいいですか？

A：それぞれのプログラムで異なりますが5月上旬を目処に準備し、アメリカのデーヴィスは指定日までに本学口座へ振り込むこととなります。エクセターは個人で振り込みを行います。サザンクロス大学への支払い方法は調整中です。詳しい支払時期等は別途連絡します。

Q：留学費用が高いのですが、何か援助はありますか？

A：上記で掲載した「外国留学生の授業料免除制度」（対象：全学部全学科）と下記に詳細を掲載した「外国留学奨学生制度」（対象：英語英米文学科）があります。どちらも返還の必要がありません。（申込及びお問合せ先：国際交流課・教育支援課）また、日本学生支援機構において「第二種奨学金（短期留学）」制度があります。こちらは3万円、5万円、8万円、10万円、12万円の5種類から選択できま



すが、有利子で返還が必要です。申請時期が決まっているので、留学を考えている場合は、早めに学生支援課に問い合わせてください。

Q：奨学金の金額は何を基準に決まりますか？

A：「外国留学奨学生制度」（英語英米文学科対象）に関しては、学業成績、留学の動機、語学力などを面接により総合的に審査します。2019 年度から下記の支給基準を設けています。留学期間の本学授業料の免除については、前のページをご覧ください。

総合評価ポイントの合計点により、以下の支給額とする。

- ・ 40 万円＝総合評価が 530 点以上（TOEIC スコアの目安は 500 点以上）
- ・ 30 万円＝総合評価が 430 点以上～530 点未満（TOEIC スコアの目安は、400 点以上～500 点未満）
- ・ 20 万円＝総合評価が 430 点未満（TOEIC スコアの目安は 380 点以上～400 点未満）

※TOEIC380 点は奨学金給付の最低基準点

※ただし、別に定めた「留学を許可する際の基準」（9 ページ参照）のうち、1 と 2 の両方もしくは片方を満たしていなくて、3 の語学力のポイントだけ高い場合、奨学金を減額することがある。

Q：奨学金の応募資格になっている TOEIC は公式の試験でなければダメですか？

A：公式のほか、学内で行っている TOEIC-IP 試験も有効です。

Q：公式 TOEIC と学内 TOEIC-IP とでは何が違うのですか？

A：公式テストは全国的に実施されているもので、協会が指定する札幌市内の指定会場にて受験する事が出来ます。（申込は TOEIC 公式サイトから。大学生協で申し込むこともできます。）

学内 TOEIC-IP は、本学で実施されているもので、年数回定期的に行っています（受験料 4,230 円。公式テストは 7,810 円）。TOEIC-IP は、公式テストの過去問題を使用しているため、公式認定書は発行されませんが、「外国留学生の授業料免除制度」ならびに「外国留学奨学生制度」に申し込む事ができます。（授業料免除制度の申し込みは国際交流課、外国留学奨学生制度の申し込みは教育支援課）

Q：奨学金の応募資格になっている TOEIC のスコアはいつまで取得したものが有効ですか？

A：留学に行く前年度において受験した試験のみが対象です。よって、留学に行く年度に受験した試験は対象になりません。留学希望者は、学内で行われる TOEIC-IP の試験は必ず受験するようにしましょう。試験日程等については、情報ポータルと学内掲示板でお知らせします。

Q：半期海外留学以外の留学はありますか？

A：約 1 ヶ月間の短期海外研修があります。夏期海外研修としてイギリスコース・中国コース・韓国コース、春期海外研修としてアメリカコース等があります。また、グローバル科目群で、アメリカやマレーシアにおいて 2 週間ほど学習できるプログラムもあります。どのプログラムも夏休みや春休みといった授業のない期間を利用して行くものです。詳しくは国際交流課に確認して下さい。

Q：危機管理サービス（OSSMA plus）加入費用、海外旅行保険料は自分で加入するのですか？

A：留学に参加する学生は危機管理サービス（OSSMA plus）保険への加入が義務付けられています。大学指定の保険会社の保険に加入していただきますが、保険料は選択することができます。ご家族とよく相談の上申し込んでください。

Q：費用を工面できるか迷いがあり、家族と相談中です。もし締め切りを過ぎてから費用のめどがついた場合、申し込むことはできないのでしょうか。

A：そのような事情がある場合、締め切り前に、まずは担任と教育支援課窓口にご相談ください。

半期海外留学スケジュール

※下記は 2025 年度に半期海外留学に行く方のスケジュール（予定）です。留学先の国により、内容は多少異なります。 2 年生の後期に行く半期海外留学のスケジュールを記載しています。

2024 年 12/2（月） 全体ガイダンス

12/3（火） イギリスガイダンス

12/4（水） アメリカガイダンス

12/5（木） オーストラリアガイダンス

12/9（月）～1/10（金） 留学募集期間（「留学願」「留学の目的」を教育支援課へ提出）

12/9（月）～1/10（金） 英語英米文学科外国留学奨学金募集期間（「外国留学奨学生願書」を教育支援課へ提出）

~~1/14（火）～1/16（木）（予定）—英語英米文学科学生個別面接（英語英米文学科専任教員による）—~~

1/17（金）～2/13（木） 留学再募集期間（「留学願」「留学の目的」を教育支援課へ提出）

1/17（金）～2/13（木） 英語英米文学科外国留学奨学金再募集期間（「外国留学奨学生願書」を教育支援課へ提出）

2 月中旬 英語英米文学科学生個別面接（英語英米文学科専任教員による）

～3/31（月） 留学申込確定（面接の結果及び 1 年次修得単位数、取得 TOEIC スコアによる）
奨学金申込に使用できる英語試験は年度内実施分に限る

3/29（土）あたり～履修登録期間 留学生必修の科目を窓口で申し込み「留学・観光英語 A（3）」
前期はこの科目を含み上限 24 単位まで履修登録可能、後期分は履修登録しない
「留学・観光英語 A（3）」・留学事前授業（英語英米文学科の専門科目）

4 月中に パスポート各自取得（取得には事前に準備する書類があるため各自早めに準備）

※すでに取得済みの学生は有効期限を確認（帰国日より 3 ヶ月以上の期限必要）

8 月中に 留学費用（渡航費及び留学プログラム料金）支払。留学大学によって期日は異なる。

※残高証明書が必要な場合は、これよりも早い準備が必要。

エクセター大学は大学を介さず、個別に留学費用の支払いをいたします。

サポートは国際交流課で行いますので安心してください。

4 月中旬～5 月上旬 各大学へのプログラム申込書を各自作成（大学によってはオンライン申込有り）

6 月上旬 アメリカビザ申請 オンラインにて各自申請 オーストラリアビザ申請はもう少し早い見込。

8 月中旬 アメリカビザ面接（札幌）

上記の期間に、各大学出発までに 7～8 回オリエンテーションを実施する。

様々な手続きがあるため、大変重要なオリエンテーションばかりである。必ず出席のこと。

留学先大学へ出発

↓ 各大学にて修学

留学先大学から帰国

◎帰国後、単位認定及び報告書のための書類提出（期限厳守）

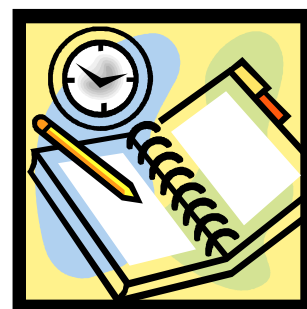
◎3 月に帰国後のプレースメントテストⅡ受験及び留学報告会で報告

また、新入生へ経験を報告していただく。

新年度は 3 年生として通常通り履修登録をし、授業に出席

みなさんは札幌学院大学が実施する半期海外留学プログラムについては教育支援課英語英米文学科及び国際交流課が留学準備から帰国後単位認定まで責任を持ってバックアップします。

しかし、さまざまな申込・申請等は各自が責任を持って行う事となりますので、人任せにせず意欲的に取り組みましょう！すべてにおいて期限厳守です。



英語英米文学科

半期海外留学を許可する基準

1. 1年次終了時点で36単位以上（見込みを含む）を取る（1年次前期終了時点で18単位以上を取るのが望ましい）。ただし、「欠席評定」を1年次登録単位数の4分の1未満に抑える。
なお、3年生で留学を希望する場合は、2年次終了時点で80単位以上（見込みを含む）を取っていること。
2. 英語英米文学科の以下の必修科目（1年次対象）の単位を全て取得し、かつこれらの科目の平均のGPAを2.0以上とする。
「英文講読A・B」「Oral Communication A・B」「English Writing A」「教養英語 IA・IB・IIA・IIB」。
※これに加え「英語文法論A・B」「英米文化論A・B」も履修・取得するのが望ましい。
3. TOEIC（IP・公開L&R・英文講読A・Bで実施する期末TOEIC模試）で、最低380点以上を取る。
※「英文講読A・Bで実施する期末TOEIC模試」の点数を用いるのは、IP・公開L&Rいずれでも380点を下回った場合のみとする。
4. 英語英米文学科外国留学奨学金の面接で、「動機」「学習意欲」「人物」の最低1つがA評価またはB評価である（3項目全てC評価の場合は、留学を許可しない）。

（備考）上記1，2，3を満たさない場合は、その理由や状況に応じて考慮する（例えば、長期入院等など、やむを得ない場合）。ただし、上記4を満たしていない場合は例外なく半期留学を認めない。

【基準と出願に関する質問】

Q：上記の基準をすべて満たしていない場合は、出願できませんか？

A：いいえ。出願自体は可能です。原則として基準をすべて満たすことが必要ですが、満たしていないときには、出願・面接後に担任教員などの面談を実施し、基準を満たせなかった事情や理由を確認した上で、2年次前期の修学に関して条件を付して留学を認めるという場合があります。

なお、3年次以上で半期海外留学を希望する場合は、必ず申請前に担任の先生か教育支援課に相談してください。

Q：3の基準についてですが、英文講読Bの最後に行なわれる模試でTOEIC380点を取得すればいいのであれば、それ以前のTOEICは受験しなくてもいいですか。

A：いいえ。「TOEIC(IP含む)を正式に受験して」1度は380点をマークしなくてはならないということです。英文講読Bの模試のスコアを用いるのは、あくまでそれらで380点以上を取得できなかったときの救済措置として設けているものですので、1年生の早い段階からしっかりTOEIC公開テストやTOEIC-IPを受験してください。また、英語英米文学科半期海外留学奨学金の申込条件は、留学に行く前年度において受験した試験のみが対象です。留学に行く年度に受験した試験や前々年度に受験した試験は対象になりません。奨学金の選考に入る条件は、最低でもまず380点を取得していることです。早くから学内で実施されるTOEIC-IPを利用しましょう。